

泊原発3号機の再稼働を中止し

再生可能な自然エネルギーの活用推進を求める署名

北海道知事 鈴木 直道 様

【要請趣旨】

泊原発3号機は、東京電力福島第一原発の事故を二度と繰り返さないため、2012年5月から運転を停止しています。福島県では、あの惨事から15年経った今もなお、2万4000人以上の県民が避難を強いられ、自宅に帰ることもできていない状態にあり、原発政策に不安を抱く道民の声があるにもかかわらず、北海道知事は再稼働に同意することを表明しました。

北海道からは、同意判断のポイントが公表されていますが、新規制基準の適合が安全性の保障とならないことは、原子力規制委員会が認めているところですし、泊地域の緊急時対応にかかる国の原子力防災会議の了承は、豪雪地帯の自然災害に対する実効性が担保されたものとなっておりません。

また、6270億円に膨張している安全対策費、今後必要となる新港や専用道路の整備、事故発生時の修理や賠償を踏まえると、経済性の観点からも原発が有益とは思えませんし、原発の再稼働が道内に余剰電力をもたらす、再生可能エネルギーの拡大を妨げることも懸念されます。

私たちは、原発の再稼働が、安全性、計画性、経済性、供給性、どれにも該当しないものと受け止めています。将来の子どもたちに負の遺産を残さないため、泊原発3号機の再稼働の中止と再生可能エネルギーの推進を求め、次の事項を要請します。

【要請事項】

- 1. 道議会予算特別委員会で表明した、泊原発3号機再稼働の同意を取りやめること。
- 2. 泊原発3号機の再稼働に対する、北海道全体の住民の声を聞く場を設定すること。
- 3. 泊原発1号機、2号機を含めた、道内すべての原発を廃炉にする方針を示すこと。
- 4. 北海道省エネ・新エネ促進条例および行動計画の実現にむけた対策を講じること。
- 5. 高レベル放射性廃棄物受け入れに反対し、北海道を核のゴミ捨て場にしないこと。

| 氏 名 | お住まい（自治体名） | 氏 名 | お住まい（自治体名） |
|-----|------------|-----|------------|
|     |            |     |            |
|     |            |     |            |
|     |            |     |            |
|     |            |     |            |
|     |            |     |            |

※上記個人情報、本目的以外に使用しません。

取扱団体【生活クラブ生活協同組合（北海道）】 004-0041 札幌市厚別区大谷地東1丁目4-15  
TEL 011-887-8891